



長 崎 県
中小企業家同友会

DOYU

ニュース
21

E-mail jimu@nagasaki.doyu.jp
U R L http://www.nagasaki.doyu.jp

本部事務局 長崎市栄町1-20 大野ビル5F ☎(095)822-0680 FAX (095)824-4623

「不離一体・中小企業経営に役立つ同友会活動の実践」 ～同友会活動が企業を支え、地域を育てる～

2019年 賀詞交歓会 開催!!

日時：1月15日(火) 会場：ホテルニュー長崎



平成最後の賀詞交換会は、金井代表理事の新代表としては最初の新年挨拶で始まりました。今年は日本銀行長崎支店長平家達史氏より「2019年の経済見通しと当地の課題」～鎖国から開国へ～という演題で講演をしていただきました。

長崎県の景気動向としては、世界遺産登録に起因して観光関連が堅調に推移していることもあり、緩やかに回復しているという分析を示されました。但し日本銀行の中小企業に対する調査では、「景気は回復していない」という回答結果が出ており、その理由として、長崎県は人口減少傾向に歯止めがかかっておらず、県内需要をターゲットとした企業活動では先行きが厳しいという“構造的要因”があるとの指摘がなされまし

た。この構造的な要因に立ち向かうために、平家支店長が強調されたことが、副題の～鎖国から開国へ～という主張です。長崎の歴史になぞらえてのフレーズですが、次世代への事業を考えると、「県内ターゲットだけでは危うい、お客様或いはライバルは、県外そして国外である。今リスクを恐れず、外へ打って出しましょう!」と訴えられました。鎖国から開国へという副題には、そんな思いが込められていました。

反省点としては、これまでのように支部会員同士だけで卓を囲まないように「くじ」で席次を決めましたが、乾杯後直ぐに離席する人が多く、普段とは違う交流をしてもらうというくじの目的は達せられなかったこと。また会員の参加数が少なかったことがあげられると思います。そんな中で長崎出島支部のみが参加目標を達成されました。



目次

2019年 賀詞交歓会 開催報告	1	会員活躍	12
2019年 賀詞交歓会 ご来賓一覧	2	新入・交代会員紹介	12
各界からの提言	4	事務局企業訪問	13
1月例会報告	5	理事会報告	14
中同協 第3回幹事会 参加報告	10	会員動向・会員数	15
2019年度 第2回 中同協 経営労働委員会 参加報告	11	3月例会案内	16

全体としては、余興も好評を博し、2019年賀詞交歓会は盛会のうちに終了したことをご報告いたします。

(文責 副代表理事 山領 進)



2019年 賀詞交歓会 ご来賓の皆様



(順不同)

長崎県 副知事

上田 裕司 様

五島市 地域振興部
商工雇用政策課 課長補佐

畑田 勝則 様

衆議院議員

西岡 秀子 様

長崎県議会議員

三好 徳明 様

参議院議員

古賀友一郎 様

長崎県議会議員

小林 克敏 様

長崎市長

田上 富久 様

長崎県議会議員

高比良 元 様

大村市長

園田 裕史 様

長崎県議会議員

浅田眞澄美 様

長崎県 産業労働部 部長

平田 修三 様

長崎県議会議員

中島 浩介 様

長崎県 産業労働部
産業政策課 課長

大庭 茂雄 様

長崎県議会議員

大久保潔重 様

衆議院議員 加藤寛治事務所 秘書

詔間 英介 様

長崎県議会議員

吉村 洋 様

衆議院議員 谷川弥一事務所 所長

松岡 壽 様

長崎県議会議員

山口 経正 様

衆議院議員 北村誠吾事務所 事務長

田村 繁幸 様

長崎県議会議員

大場 博文 様

衆議院議員 富岡勉事務所 事務長

伊藤 順一 様

長崎県議会議員

前田 哲也 様

参議院議員 金子原二郎様 代理
県議会議員

前田 哲也 様

長崎県議会議員

山本 啓介 様

長崎県議会議員	ごうまなみ 様	商工組合中央金庫 長崎支店 支店長	増田 利幸 様
長崎県議会議員	里脇 清隆 様	十八銀行 本店営業部 副部長	伊藤 雅博 様
長崎県議会議員	渡邊 敏勝 様	親和銀行 長崎営業部 部長	山川 信彦 様
長崎県議会議員	川崎 祥司 様	活水学院 院長 活水女子大学 学長	湯口 隆司 様
長崎県議会議員	山田 博司 様	NHK 長崎放送局 局長	遠藤 理史 様
長崎県商工会連合会 企業支援課 課長	関東 剛幸 様	長崎放送株式会社 常務取締役	藤井 潤 様
長崎県中小企業団体中央会 専務理事	江口 道信 様	株式会社テレビ長崎 代表取締役社長	宮前 周司 様
長崎県経営者協会 専務理事	岩根 信弘 様	長崎文化放送株式会社 常務取締役	永田 英二 様
長崎県信用保証協会 監事	小柳 立身 様	株式会社長崎国際テレビ 営業局長	高木 勇治 様
日本政策金融公庫 長崎支店 支店長兼国民生活事業統轄	淵上 眞吾 様	日本経済新聞社 長崎支局 支局長	古宇田光敏 様
日本政策金融公庫 長崎支店 中小企業事業統轄	神庭 義明 様	D-FLAG チーフ・インキュベーション マネージャー	宮本 美砂 様
日本政策金融公庫 佐世保支店 支店長	島口憲一郎 様	大村市産業支援センター センター長	若杉 誠司 様

ご臨席 誠にありがとうございました。

長崎新聞 1月17日

県中小企業家同友会の賀詞交歓会
で鏡開きをする出席者＝長崎市大
黒町、ホテル「ユ－長崎」



県中小企業家同友会
会員増へ「猪突猛進」
賀詞交歓会
県中小企業家同友会（金
井政春代表理事）の賀詞交
歓会が15日、長崎市内のホ
テルであり、160人が出
席した。

「会員の要望、相談に応
えられる会にしよう」など
同会のスローガンを唱和。
恒例の全員参加による握手
タイムでうち解けた。
金井代表理事は年頭あい
さつで、現在の会員数74
0人を900人に引き上げ
る今年の目標を示し「猪突
猛進でやっていきたい」と
述べた。日銀長崎支店の平
家達史支店長が今年の経済
見通しについて講演した。
2月21、22の両日には、
中小企業家同友会全国協議
会主催の全国大会が約30年
ぶりに長崎市で開催され、
約1200人が参加する予
定。

（後藤敦）

各界からの提言

長崎純心大学長 片岡 瑠美子



プロフィール

■出身地：長崎市

■略歴

- ・昭和45年 3月 上智大学大学院文学研究科修了(文学修士)
- ・昭和60年12月 教皇庁立グレゴリアナ大学大学院修了(教会史学博士)
- ・平成元年 4月 純心女子短期大学教授
- ・平成6年 4月 長崎純心大学人文学部教授
- ・平成10年 4月 長崎純心大学大学院人間文化研究科教授
- ・平成10年 4月 長崎純心大学博物館長(現在に至る)
- ・平成17年 4月 長崎純心大学学事部長(平成26年3月まで)
- ・平成26年 4月 長崎純心大学長(現在に至る)

長崎県中小企業家同友会におかれましては、日頃より地域の中小企業の振興にご尽力されておられますことに敬意を表します。

同友会様と本学は、一昨年(2017年)に包括連携協定を締結いたしました。地域の企業の皆様と協働し、学んできたことを生かして「地域」の一員となって学びながら地域に貢献できることを願ってのもので、この協定をきっかけに、学生の学びに大変ご協力をいただいております。企業講演はもちろん、会員企業様には毎年インターンシップ学生を受け入れていただき、実習後にはキャリア授業で受入企業担当者と学生のペアでインターンシップ体験報告会を実施しましたし、企業代表者様等13名に、本学にお越しいただき学生との交流座談会も行いました。

長崎純心大学は今年、1994年の開学から25周年を迎えます。そして、開学当初は女子大学としてスタートを切った本学ですが、この4月からは全学科で「男女共学」とする新たな歩みを始めます。

現代は男女協働社会です。本学で学ぶ学生たちが社会に出た際に、ジェンダーの違いを認め、とうえで円滑に、男女協働のもと社会に貢献で

きるように、大学4年間で経験を積むことが大切だと考えるものです。同時に、昨年度から本学は5学科体制を「文化コミュニケーション」「地域包括支援」「こども教育保育」の3学科に統合改組しています。このたびの全学共学化によりさらに男女平等に、一人ひとりの学びの幅が広がります。

本学では「地域」の学びを大切にしています。「長崎さるく入門」の授業を通して“さるくガイド”を養成しているほか、平和の伝承活動として学生による平和パンフレット作成や、長崎を訪れる修学旅行生への平和学習等を行っております。地域包括支援学科ではソーシャルワーカーを目指す学生たちが地域活動を行っております。

本学では9割近くの学生が長崎県内の出身者であり、社会に出るにあたって、例年7割程度の学生が長崎県内で働き暮らす道を選択します。

地域を学び理解し、残る、ではなく「選び取る」学生が増え、また長崎の地が選ば取られる存在になってほしいとも考えます。

今後も産学の交流を深め、長崎のまちで学びながら、地域に貢献・奉仕する人材育成を通じて長崎の発展に寄与できればと考えております。

長崎浦上・長崎出島支部 合同例会報告

日 時	1月23日(水) 18:00～20:30
会 場	サンプリエール
テ ー マ	共同求人委員会の真の目的とは
報 告 者	ブライアント(株) 代表取締役社長 橋口 久 会員(佐世保支部)



共同求人委員会が2018年度発足しました。しかし、支部では委員会の存在を十分に告知出来ていません。そこで例会を通じて共同求人流布活動を行い委員会の目的と意義をご理解いただきたく、橋口共同求人委員長より報告いただきました。

橋口委員長から「共同求人委員会は何ばすると？」こんな疑問に答えていただきました。委員会の目的は、①若者を地域に残す ②多様性ある雇用を実現する ③中小企業の人手不足を解消する。しかし具体的に何をするのが重要なのです。それは求職者から選ばれる企業づくりを実践しないと目的は達成されません。同友会で開催される各種の学びや実践の機会を創造する



運動は、共同求人の発足で横断的な連携が可能となり、求職者から選ばれる企業づくりに活用できます。支部例会の他、経営労働、共育、ダイバーシティ、共同求人 の四位一体運動として私達は学べます。

連携の第一弾が長崎同友会経営者塾です。いつ、どこで、どのような学び場があるのか経営者塾発足により、体系化されとても分かりやすく学ぶことができるようになりました。

出席者からは、質問も多く寄せられました。

1. 選ばれる企業づくりの基準はありますか。
 2. 合同説明会への参加条件はありますか。
 3. 課題や悩みは企業によって異なるが、どの委員会から学べば良いのでしょうか。
 4. UターンIターンもあり他県との連携は。
- など、共同求人委員会に対する出席者の関心も高まってきました。

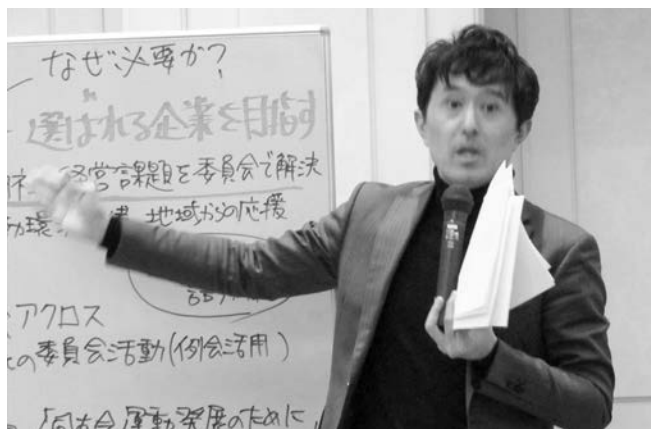
グループディスカッションでは、委員会活動の重要性が深堀りされ、経営指針、共育から積極的に大胆に取り組む決意をされたグループもありました。自社の内的要因の解決の第一歩は、現在、働く社員さんから選ばれる会社です。あなたはどの委員会で何から学びますか。学びはあなたの足元にあります。自らすんで灯りをつけましょう。

(文責 長崎浦上支部 吉澤 健)

長崎同友会で今年度から発足された共同求人委員会。まだまだ委員会活動が活発ではない中、どのような活動をしていけば、委員会がより盛り上がり、会全体が発展していくのか、一人一人の役割、委員会ごとの役割が明確になった報告となりました。

三位一体の経営、運営から、委員会ごとに四位一体となり、それを糸のように縫い合わせていくのが例会であるという内容には、参加者の感想からも、皆さんの腑に落ちたところであったとうかがえました。参加者の中には、多少の難しさを感じた方もいらっしゃいましたが、委員会活動を活発にしていくことで、わかっていく部分も多々あるのではないかと考えられます。

共同求人委員会が浅いものではなく、各委員会の潤滑油となるような委員会となっており、これからの取り組みが、とても楽しみなものになっています。また、橋口さんの発信により、合同例会とし、委員会主体の例会テーマ、二人の座長、ホワイトボードを3枚使っ



ての報告や質疑応答など、新しい委員会ならではの進行となりました。

反省点としては、予定より参加者が増え、グループ発表の時間が押してしまったので、事前打ち合わせを密にしなければならなかったことと、参加者の呼びかけも、さらに積極的にしていれば、一人でも多くの方



に、委員会活動の意義や意味を知ってもらう機会になったことです。

シミュレーションでは、佐世保での例会を軸にし、発表する予定だったが、長崎出島支部も長崎浦上支部も、これから委員会活動を活発にしようとしているところなので、委員会とは何かというところから入り、共同求人委員会につなげていくような報告にしていこうとしました。その結果、全体的にまとまった報告



となり、次回の大村での開催も盛り上がることとなりそうです。

今回、このような初の試みで、座長という大役を仰せつかり、思うような進行はできなかったかもしれませんが、自分自身、成長させていただくいい機会となりました。ありがとうございました。

(文責 長崎出島支部 中尾 由花)

大村支部 例会報告

日 時	1月17日(木) 18:30～21:00
会 場	パークベルズ大村
内 容	慶祝例会



毎年恒例の1月慶祝例会が今年も開催されました。これに先立ち朝から大村市内の富松神社にて、

【還暦祝い】中村光力会員

【厄 入 り】田中勝茂会員・村山靖二会員

【厄 払 い】野中哲也会員・野添祐二会員

上松英臣会員・牧山大和会員

の祈願を益田支部長をはじめ数名の会員にも参列いただき、無事お払いをいただいてまいりました。

そして夜の部の慶祝例会が益田支部長の新年挨拶から始まりました。柴田さん、杜さんのバッジ贈呈終了後、生野副支部長の乾杯の御発声のもと盛大な交流会が始まりました。その後毎年恒例の大村支部全員による抱負の発表が行われ、委員会別に登壇し一年の抱負



を書いた色紙を片手に昨年の反省、今後の目標などを面白可笑しく語っていただきました。最後の締め挨拶は金井代表理事に新年スタートにふさわしい今後の同友会メンバーとして気を引き締められる言葉をいただき、よいスタートになった例会だったと思います

(文責 細名 久)

諫早支部 例会報告

日 時	1月23日(水) 18:30～21:00
会 場	諫早観光ホテル 道具屋
テ ー マ	諫早に来てみて ～諫早の特徴と魅力とは～
報 告 者	諫早市 副市長 大水 敏弘 氏



新年初めての諫早支部1月例会は大水敏弘副市長をお迎えし、諫早市の特徴と魅力について報告いただきました。

初めに「諫早といえば…」という会員個々への問いから始まり、「うなぎ、眼鏡橋、諫早湾干拓」などありきたりな答えしか出てきませんでしたが、副市長自身の外から見た視点を織り交ぜながら諫早市の観光資源、アピールポイント、さらにはアピールするための手法として風景の切り取り方などの指摘をいただきました。

街づくりに関する事例で心に残ったのが2点。まず、水源地から河口まで28kmと日本一短い一級河川である本明川の話。ここでは河口で競技用ボートの練習なども行われており、全国的に注目されている川でもあります。

次に、宮崎県日南市油津の広島東洋カーブを利用し



た第二のホームタウンにという街づくりなどの事例。諫早市にはご存知の通りVファーレン長崎のホームスタジアムがあり、諫早駅からスタジアムまでの道程では、市民の有志による様々なおもてなしが行われています。2018年のアンケートでは全国のJチームの中でも「交流しやすいサポーターランキング1位」に長崎が選ばれているそうです。

このような活動も、今後まだまだ全国からやって来る他サポーターへの魅力のアピールポイントになっていくのかもしれない。

このような事例から、普段気にも留めてない事でも外から見たら興味深いものであることを意識し、発見していく必要性を感じました。

グループ討論では「あなたが諫早にできそうなことは何ですか?」というテーマで、中小企業家としての役割を考える討論となりました。それぞれが自分の仕事や趣味を通して地域に貢献することを意識できたのではないかと思いますし、意識をすることで地域が元気になっていく力の源になるのではないかと感じました。

最後に業務に役立つフレーズとして「具体性がなければ人はそれ以上の興味を持たない」という言葉が心に残っています。

(文責 本多 勝雄)

島原支部 例会報告

日 時	1月24日(木) 19:00～21:15
会 場	HOTEL シーサイド島原
テ ー マ	夢は見るものではなく、叶えるもの ～おおむら夢ファームシュシュの挑戦～
報 告 者	(有)シュシュ 代表取締役 山口 成美 会員(大村支部)

農業を通じて、大村市の福重地区を元気にしたいという思いで誕生したおおむら夢ファームシュシュ。今では6次産業に加えて、観光、プライダル事業、法事などの葬祭業、お歳暮、お中元など、既存の枠を超えて大きくご発展されている姿は、地方で経営を行う我々経営者にとって示唆に富む大変有益な内容でした。



報告後のグループディスカッションは「夢(ビジョン)を社員や家族と共有できていますか?」とのテーマで行われました。家族にまずは理解してもらう事の難しさや日々の業務の中でどう伝えるかに苦心してい



る会員の声など、「共有の難しさ」に悩んでいるケースが多いように感じました。

山口さんの報告から次の3点がシュシュの強さの秘訣のように思います。まず1つ目は圧倒的なスピード。おそらくある程度の失敗を想定しながら改善を続けて商品開発を進めていかないとこのスピードは創出できないように察します。そして「新商品は社長が決めているのですか？社員が決めているのですか？」との問いの回答としては、シュシュで働く皆さんから自ずと生み出されてくるとの事。2つ目は貪欲に今の時代に学ぶ姿勢。入社試験でもシュシュの新商品を考えてもらう問題があるそうです。これは今の若い人が何を考えているかという“マーケティング”にも応用され、商品開発の新情報としても活用されています。この貪欲に学ぶ姿勢が会社全体で共有できているからこそ次々と新商品が開発され、常に魅力的な空間ができて



いるのだと思います。3つ目は山口さんのお人柄。何より仕事を楽しそうな印象を受けました。今もなお経営の第一線でご活躍しておられる姿がとても眩しかったです。挑戦を続けている人はやはり魅力的です。大変なご苦労もあったと思いますが、経営、組織そしていろいろなものが躍動し、成長し続けている印象をうけました。社員の8割が女性ということも山口さんのアイデアをしなやかな形で受け入れ、豊かに表現されているのだろーうと思いました。

人口減、高齢化など地方を取り巻く環境はいまだに明るさを取り戻せていません。多くの地域が消滅都市として想定されている中でおむら夢ファームシュシュの数々の挑戦と輝かしい経歴は地域の企業のあり方に一筋の光を指してくれる指針のように感じました。そして山口さんに経営者として、地域のリーダーとしての理想の姿を垣間見たような気がしました。

(文責 中山 実津雄)

佐世保支部 例会報告

日 時	1月22日(火) 18:30～21:00
会 場	魚魚の宿
内 容	慶祝例会



1月は佐世保支部恒例の慶祝例会を開催しました。今年は古希2名、還暦4名及び厄入り4名の合計10名が慶祝対象者に該当し、当日は51名（うち、慶祝対象者6名）の参加となりました。

今回も支部会員である魚魚の宿の小松屋さんの計ら



いにより、慶祝例会会場に神主様をお呼びして祈願を行いました。祈願の後、慶祝例会を開始しました。直江支部長のあいさつ、ゲストの紹介、新入会員バッジ贈呈、松尾全研実行委員長による乾杯と続き、歓談となりました。その後、小松屋さんらによるバンドの演奏、慶祝対象者の紹介、そして委員会対抗カラオケ大会がありました。最後に、豊福筆頭副支部長による中締めにより、慶祝例会は滞りなくお開きとなりました。今回の慶祝例会が滞りなく開催できたのは、小松屋さん並びに片桐例会委員長をはじめとする支部役員及び慶祝例会参加者の皆様のお蔭です。深く感謝申し上げます。

今回の慶祝例会に関しましても、祈願を慶祝例会会場で行ったことにより、参加者全員で祈願を見守ることができ、大変良かったと思います。

最後に私が支部例会、総会の報告の都度述べていることですが、役員は日々本業をこなしながらの会務活動ゆえ、会務活動にも限界がありますので、事務局をより有効に活用できないものかと思っています。同じく、



ここ数年、会員数が相当増えており、これによる支部会員の状況把握、支部例会及び支部総会の運営並びに支部予算の執行がますます難しくなってきました。よりよい支部運営が行えるよう、支部会員の皆様



におかれましては、支部活動へのさらなるご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

(文責 東島 誉志)

北松浦支部 例会報告

日 時	1月19日(土) 18:30～20:30
会 場	サンパーク吉井
内 容	賀詞交換例会

新年、最初の北松浦支部の例会は、会員100%出席…(希望)賀詞交換例会として開催しました。役員会時に未回答者には電話確認をし、と努力もしましたが残念ながら100%には至りませんでした。それでも役員みなさんの声掛けのお陰で多くの会員に参加していただき大変活気のある賀詞交換例会となりました。ゲストとしては銀行、信用組合、商工会議所から参加していただき、またその場で一人の方から入会したいとお話をいただきました。

お酒も進んだなか、津崎支部長のマイクパフォーマンスが繰り広げられ盛会のうちにお開きとなりました。

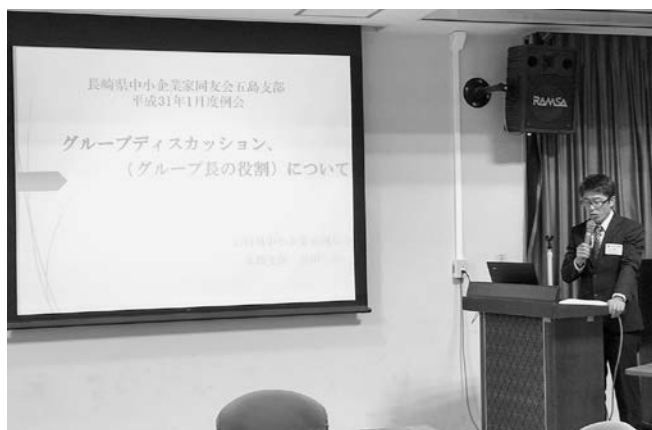
(文責 中村 寿弥)



五島支部 例会報告

日 時	1月16日(水) 18:30～21:00
会 場	福江総合福祉保健センター
テ ー マ	グループディスカッション(グループ長の役割)
報 告 者	五島トラック建設(有) 取締役 谷川 喜一 会員

五島支部1月例会はグループディスカッション(特にグループ長の役割)を学びました。例会活動において特に重要なポイントとなるグループディスカッションですが、今までなんとなくグループ長や発表者を



行ってきた方にとってはより理解を深めるための例会

になったのではないのでしょうか。学び手が分かりやすく理解するために、模擬という形で実在しない人物のストーリーやグループ長の進め方を演技者が原稿を読みながら流れを学ぶという形式でしたので、分かりやすかったかと思います。「なるほど、こう進めていくのか」という意見もありましたので、年に一度はこのような例会があっていいかもしれないと感じました。

(文責 浦上 純人)



青年経営者会 例会報告

日 時	1月29日(火) 19:00
会 場	アルカス SASEBO
内 容	第三回模擬戦略会議

青年経営者会の例会として初の佐世保開催となりました。勿論佐世保のメンバーも初参加で初の模擬戦略会議、今回は3回目で分析シートなどを活用する「まとめ」となるところでしたが、懇親の意義も込めてテーマに沿った自由な意見を出していただきました。前回までの流れがなかなか伝わらず運営として盛り上がり欠けてしまい、反省する点が多くありましたが、皆さんの色々なお話も聞けて交流をはかることができました。

ました。

懇親会は佐世保の地で長崎市のメンバーや佐世保支部のメンバー、松尾全研実行委員長と更に交流を深めることができました。今年度は全研を目標としたキャラバンの意味合いもある沖縄での35周年記念行事や青全交など数多くのイベントがあり、また各支部の皆さんも時間が合わず参加ができないところなど今後の青経の課題も数多くの学びとなりました。

いよいよ全研!長崎の会員の皆さん、その中でも青年経営者会の会員さんが中心となり活躍し全国の皆さんに喜んでいただき歴史に残る大会となるよう一丸となって楽しみながら頑張ってください。

(文責 安井 忠行)

中同協 第3回幹事会 参加報告

開催日：1月11・12日(金・土) 会場：中野サンプラザ

代表理事 金井 政春

全国から163名の幹事と事務局員、中同協から17名の合計180名にて開催されました。議題は5万名会員達成に向けた取り組みについての議論から始まり中山中同協幹事長より現状報告がありました。

10月1日時点での会勢は46,340名と期首より23名減となっています。今期の始まりの4月時点では9年連続で最高会勢を更新していますが、それ以降は微増と微減を繰り返しており、会員増強に勢いがついてないことが報告されました。そこで、中同協では全国的な入会候補者への紹介キャンペーンを実施する事となりました。そして全国事務局長会議で9つのキャッチコピー案が提案され、幹事会で投票が行われ私も投票した「広げよう同友の輪、つくろう豊かな未来」に決定しました。

長崎同友会としては9年連続で会員増を達成し今年度も会員の皆様のご尽力により過去最高会勢にて2月の全研を迎えることができます。現在750名を



超えた所ですが中同協設立50周年の期末である来年3月までには長崎同友会は900名を超える会員数とし中同協5万名達成に向けて貢献したいと思いました。

続いて「同友会運動の将来展望」についてグループ討論とワークショップが行われました。主だった意見として

はやはり企業づくりの会であるべきで同友会に入会して良くなった企業を多く作り、同友会づくり、地域づくりに貢献できる会を目指そうとの意見で私のグループは纏まりました。その他、8議題を討論して2日間の幹事会が終了しました。

その後九州・沖縄ブロック会議が開催され、これからの年間スケジュールを確認しました。その中で九州・沖縄ブロック役員研修会で「会員5万名に向けた研修」との提案がなされましたが、多くの県から「役員とは

どうあるべきかの研修」にして欲しいとの要望がありました。私としても全くの同感でした。

同友会の代表理事に就任させていただいて8ヶ月が

過ぎ少しづつ悩みが出てきた私でしたが、悩みを解決するまでには至らず帰ってきました。会員の皆様の切なるご協力をお願いします。

同友会事務局 山田 幸司

本年11月、中同協は設立50周年を迎えます。中同協は、設立50周年に取り組む意義を次のように位置付けています。

1. 運動の到達点を確認する

中同協半世紀の運動の到達点を全国の同友会で共有し、誇りと確信をもって、これを会内外に広める契機とする

2. 新たな半世紀を展望する

同友会運動をさらに広め深め、「三つの目的」実現のための、新たな半世紀を展望する契機とする

3. 全国5万名会員を実現する

全国の同友会・中同協と会員が一丸となって、「全国5名会員」を実現し、これからの同友会運動を前進させる力とする

今回の幹事会は、「可能な限り、上記3点を共通認識とし、今後の方向性を全国の同友会と共有することが、運動推進のために重要であるという観点から、本幹事会を皮切りに、「同友会運動の将来展望」の検討をすすめ、「中同協の果たすべき役割と将来像を考える」ということで、いつにも増して強い緊張感がありました。

全くの無の状態から活動を始め、組織を作り、様々な取り組みに挑み、同友会運動を発展させてこられた多くの先人に敬意を表するとともに、これからの中小企



業家同友会の役割とは何かを考えるという、大げさかも知れませんが、第51回定時総会に向けて、まさに歴史に刻まれる幹

事会であったのではないかと私は思います。

「あらたな半世紀を展望する」という中、まずは、「10年後の同友会運動の“ありたい姿”とは？」をテーマとして、グループ討論と幹事会初となるワークショップに取り組みました。・労使見解のもとに全社が経営指針を確立し実践している・学校との連携が進み、ついには同友会で学校を設立している・中小企業庁の長官に会長が就任している等々意見は広がり、グループ発表では、なんと「世界同友会」という組織構成案まで出されました。（そんなことは無理という否定的な意見は出さないというルール）

第51回定時総会議案（骨子案）の提案の後、全国行事、交流会などの実施についての中では、第49回全研の成功に向けて、金井代表理事が登壇され参加登録状況の報告と最後の参加動員をなされました。

2022年の長崎同友会50周年に向け、皆様と一緒にこれまでをしっかりと振り返るとともに、これらに向けて大きな展望を抱いていく所存です。参加させていただきありがとうございました。

2018年度 第2回 中同協 経営労働委員会 参加報告

開催日：1月29・30日（木・金） 会場：TKP市ヶ谷カンファレンスセンター

経営労働委員長 宇土 敏郎

委員会では中同協・経営労働委員会及び各地同友会の現状の確認ができました。

今、同友会で検討されているのは

①働き方改革法と労使見解について

②外国人労働者問題への対応

です。今後、同友会として見解が出されていきます。長崎同友会も経営者塾、例会等で報告していきます。

また、経営指針成文化運動については、大きな広がりとなっている同友会では、助言者、パートナーの存在が大きくなっています。更に支部活動の中心に経営指針成文化と実践が位置付けられ、役員が中心となって展開されています。長崎同友会でも次年度から提起していきます。

更に、今回の一番の学びは、「企業変革支援プログラム」の活用と普及でした。徳島・香川の報告を受けて、長崎での取り組みを再度検討します。また、「企業変革支援プログラム」の利活用及び要望のアンケートが実施されます。全会員の回答を目指します。

また、「働く環境づくりの手引き」がe.doyuにて配信されます。そして「1人でも雇用したら就業規則を作成しよう」が日本法令から書店にて3月末ごろ発刊されます。問い合わせが各地同友会にあります。会員増強に向け事務局も対応していきます。

最後に、現在は「制度変更には振り回されない」、「ぶれない経営環境を作る」ことが必要です。労使見解と経営指針成文化と実践を運動の中心に置き、ぶれない委員会活動を引き続き行います。

会員活躍

長崎新聞 1月25日
北松浦支部 熊屋 誠一郎 会員

平戸のカステラ台湾で販売



台湾で販売している「長崎蜂屋」を手にする熊屋事務 平戸市 熊屋

1762年創業の同店は郷土菓子「牛蒡餅」などで知られる。2017年に発売した「二百年かすてら」は、店に代々伝わる製造法を守る職人が「甘すぎない味」としてとった食感に焼き上げている。

現地企業の目に留まる

同店は、地場産品の海外展開を進める平戸商工会議所（早田悠次会頭）の事業で昨年、台湾で開かれた食の見本市に出店。その味を気に入った台湾の企業が、約半年だった商品の賞味期限を1年に延ばすことを要望した。その後、熊屋事務が原価を抑えながら包装材の改良を重ねるなどし、台湾での販売にこぎ着けた。

甘すぎずしっとり食感 菓子店「熊屋」

平戸市魚の棚町の老舗菓子店「熊屋」（熊屋久典社長）が、人気商品のカステラ「二百年かすてら」を台湾でも販売を始めた。白と黒のパッケージは、鮮やかな赤やオレンジの台湾仕様にし、現地商品名は「長崎蜂屋蜜糖」。熊屋誠一郎事務（35）は「商品を通じて、少子高齢化が進む平戸に海外の皆さんの目が向けられたい」と話す。

新入会員の皆さんです <2月入会・交代>

(敬称略)

<入 会>

支 部 名	長崎出島支部			
氏 名	よしだ まさひろ 吉田 将裕			
企 業 名	マッサジャパン(同)			
役 職 名				
企 業 住 所	〒852-8156 長崎市赤迫1-5-11			
T E L	095-801-1839		F A X	
業 種	語学スクール・飲食コンサルタント			
企 業 PR	圧倒の結果をもたらすと評判の英語多読学習をメインとした語学スクール「ワイズマン・イングリッシュ」の他、飲食コンサルティング事業の会社です。			
スポンサー	森山 博史			

支 部 名	諫早支部			
氏 名	おくむら だいこ 奥村 大悟			
企 業 名	T M事務ソリューション			
役 職 名	副代表			
企 業 住 所	〒854-0065 諫早市津久葉町5-121 津久葉エステートビル213			
T E L	0957-46-3900	F A X	0957-46-3901	
業 種	事務アウトソーシング・保険			
スポンサー	馬場 一信			

<交 代>

支 部 名	長崎出島支部			
氏 名	しおいかり のりゆき 汐碇 範行			
企 業 名	コクヨマーケティング(株) 長崎支店			
役 職 名	支店長			
企 業 住 所	〒850-0051 長崎市西坂町2-3 長崎駅前第一生命ビル 2F			
T E L	095-829-6211	F A X	095-829-6215	
業 種	オフィス空間構築・文具事務用品・事務機器の販売			
企 業 P R	コクヨは、商品・サービスを通じて、お客様の創造性を向上する価値を提供することにより、人々のよりよいはたらく・まなぶ・生活する"Quality of Lifeの向上"を実現し、社会の役に立つLife & Work Style Companyを目指します。文具・事務用品からオフィス家具、公共家具、さらには空間構築まで、お客様の「ひらめき・はかどり・ここちよさ」をサポートするさまざまな製品・サービスをご提供いたします。			
前 会 員	中川 泉			

支 部 名	大村支部			
氏 名	と どう 杜 東			
企 業 名	セブンイレブン 大村池田1丁目店			
役 職 名	マネージャー(共同経営者)			
企 業 住 所	〒856-0026 大村市池田1-20-1			
T E L	0957-54-3322	F A X		
業 種	小売業			
企 業 P R	「近くで便利」常に心を持った接客でお客様に安心をお届けします。			
前 会 員	林 知佳			

事務局企業訪問

今回は島原支部 荒木 博さん（(株)荒木工務店）
にお話しを伺いました。



【(株)荒木工務店】

1972年に荒木さんのお父様が創業。現在は総合建設業・不動産・一級建築士事務所・福祉用具相談員による販売を行っています。2017年6月にはショールーム「Alum」をオープンしました。

【後継者として】

荒木さんは長男だったこともあり、小学校の文集には将来は大工になると書き、高校を卒業する頃には親の跡を継ごうと考えていました。大学では建築を学び、卒業後も他県の工務店に修行ということで就職も決まっていた。しかし荒木工務店の工場が火事に遭い、家業を助けなければということで急きょ荒木工務店に就職することになりました。初めは大工として経験を積み、その後建築士の資格を取得。2014年には事業を承継し、代表となりました。

【経営理念】

(株)荒木工務店 経営理念

「共につくり 共に感動し 共に幸せなる」

「人づくり 街づくりに『絆す』会社であろう」

荒木さんが理念を作るきっかけになったのは、島原支部の上田さんの会社((有)上田自動車)に遊びに行ったのがきっかけでした。そこには理念や経営計画書があり、刺激を受けました。当時働き方やルールづくりに悩んでいた荒木さんは理念を作ってみたいと思い、すぐに理念・経営計画書を作成しました。そして作るだけでなく、理念を毎日唱和するなどの実践をしたところ、大きな変化があったと語ります。

まず変わったのは荒木さん自身でした。理念の実践に向け、自分が変わらなければ会社も変わらないと思いコーチングを学び、社員の話を聞くことができるように取り組みました。いかに社員の意見を引き出せるかという姿勢に変わり、社員と相談することが仕事と

考えたところ、課題・悩みの共有ができるようになり、社内の風通しも良くなりました。また社員をより一層知ることができ、仕事を任せられることができるように変わっていったと語ります。

【女性の力を生かす職場づくり】

Alumをオープンしようと思ったきっかけは、これまでは荒木工務店は大工といった男性の職人が活躍する会社でしたが、このままで大丈夫なのかという危機感がありました。また荒木さんの奥さんも仕事を手伝っていましたが、楽しくなさそうに働いていました。それは社内には女性の力を生かす環境がなかったためです。そこで荒木さんは、女性の力を生かした会社作りをしたい、それならばやりがいを感じてもらえる場所づくりをしようと考え、Alumをオープンしました。現在は女性のパートも増え、笑顔が溢れる職場になったと感じているそうです。

【企業訪問を通して】

今回の企業訪問を通じて、良いと思ったらすぐに取り入れる柔軟さ、そしてそれをすぐ行動に移すスピード感・実行力にとっても驚きました。

今後について荒木さんは、「島原を元気にしたい、そのためにはまずは荒木工務店の体制作り・強化を行う、そして次のステップとして荒木工務店も島原から諫早・熊本へと活躍の場を広げていきたい」と語っておられ、荒木工務店が島原から飛び出し活躍する日もそう遠くないのではと思うばかりです、これからの荒木さんの活躍を祈念いたします。

今回はお忙しいところお時間をいただきありがとうございました。

<会社概要>

(株)荒木工務店

〒859-1403 長崎県島原市有明町湯江丙1024-2

TEL: 0957-68-3447 FAX: 0957-68-3477

Alum

〒855-0064 長崎県島原市柏野町2796-6

TEL: 0120-166-411

HP: <http://arakikoumuten.com/>

(文責 事務局 田口 友廣)



2月理事会 報告

2月7日(木) つくば倶楽部 出席24名 欠席12名

開会あいさつ (抜粋) - 金井代表理事

みなさん、お疲れ様です。連日連夜、同友会活動に多くご参加いただき、全研については、細かいところまで打ち合わせをして準備が進んでいます。本日もよろしくお願いいたします。

仲間づくりについて

1)入会・復会交代・交代・退会の承認について
- 15名の入会、1名の復会交代、1名の交代、3名の退会を承認

2)仲間づくりの進捗状況・具体的活動状況について
・原田仲間づくり委員長 総括- 1月17日に3回目の県下一斉仲間づくりの日を開催しました。支部によって取り組みや結果に差が出ているので委員長としてバックアップをしなくてはいけませんでしたが、800名の目標到達はできませんでしたが、来期1,000名達成に向けてがんばりたいと思います。

・金井代表理事- 全研を750名でむかえるという目標は達成しましたが、支部によって取り組みに温度差があると感じます。活動ができていながらも結果が出ていない支部は、続けていけば結果が出ると思います。活動ができていないということが問題ですので、原田委員長にはぜひがんばっていただきたいと思います。

＜第3クール(11/15～1/17) 表彰＞
☆最優秀支部賞
・長崎出島支部7名
・第2位 佐世保支部6名 ・第3位 大村支部5名
・長崎浦上支部2名 ・諫早支部、島原支部1名
☆スポンサー賞
第1位 3名紹介して下さった 長崎出島支部 本多 邦暁さん

協議・承認事項

1)長崎同友会 第5次ビジョン(案)について- 金井代表理事・川上ビジョン委員長
→第5次ビジョン(案)について承認

2)来期に向けて
・年間予定の確認
→役員研修会：9月21日(土)、賀詞交歓会：1月17日(金)の日程で開催することを承認
・各委員会、各支部活動報告・方針案の確認- 三役会にて確認。修正依頼済の委員会あり
→情報広報委員会は修正済。仲間づくり委員会、共育委員会、長崎浦上支部は修正依頼中であることを確認
・支部長内定者の確認
→全内定者を定時総会に上程することを承認
・修正予算案について- 上野財務委員長
→活動活性化対策費について、各支部で再度協議の上、次回三役会までに意見提出を依頼

3)賀詞交歓会を振り返って/1月15日(火) /ホテルニュー長崎- 山田事務局長
・講演- 「2019年の経済展望」 日銀 長崎支店長 平家達史氏
・余興- 「祝い餅」 かわち家さん、「津軽三味線」 石井秀歩さん(諫早支部 食楽亭 土井さんの妹さん)
・席割- 着座

＜登録・出席状況＞

	浦上	出島	大村	諫早	島原	佐世保	北松浦	五島	合計
会 員 数	112	110	101	87	71	182	43	32	738
目 標	30	30	24	21	18	39	10	8	180
会員登録	21	30	17	16	8	15	1	3	111
会員出席	20	28	13	14	8	13	0	3	99
ゲスト出席		6		1					8
出 席 計	21	34	13	15	8	13	0	3	107

来賓47名

・収支について
→収支について仮承認

4)2019年度 経営フォーラム(担当 諫早支部)について- 馬場支部長
・開催日- 10月19日(土) ・会場- 国立諫早青少年自然の家
・記念講演講師- 副島 正純氏(一般社団法人 ソシオSOEJIMA 代表者)
→開催日時、会場、記念講演講師について承認

報告・連絡事項

1)12月 県本部・支部・委員会等の活動状況について/
＜委員会等＞

例会	1月21日(月)シーハットおおむらにて第7回例会委員会を開催。 ●各支部例会状況の報告・・・各支部出席率や返信率が伸び悩んでいる、各支部例会の魅力を上げるために呼びかけや、同友会活動を活性化する施策を議論した。 ●今後の例会委員会の日程について・・・3月は長崎浦上支部例会前後に開催。 ●第4次ビジョンアンケートについて・・・ビジョン達成に向けての今後の取り組みについて議論。 ●来期の例会委員会について・・・例会企画書の仕様変更の提案、来期の委員会は例会参加を伴わない事を確認した。場所や日程は委員会内で今後検討する。 ●事務局より・・・2月に全研以外の支部同友会活動の実施を提案、活動の手引きの例会に関する記載のある個所の紹介。
経営労働	活動計画 1)経営者塾の開講 1/25小規模事業者会員向け経営指針実践セミナー開催 3名参加 2)経営指針実践セミナー2018の開催 県主催 1/12 No.7 (最終)開催 9名参加/20名申込 島原 1/22 No.5開催 6名参加/7名申込 北松 1/28 No.5開催予定 名参加/12名申込 3)県委員会活動、支部委員会活動の活発化 今回は活動なし
共育	・3月新入社員向けセミナー今期第3回目予定
政策	【1月度活動報告】 【第5次ビジョンについて】 ①中小企業憲章・中小企業振興基本条例の意義及び役割を全会員が理解し、県内各自治体に振興条例が制定され、それを背景に官民一体となって中小企業振興策が練り上げられ施行されている。 ②各地同友会がその活動を通じて地域課題を見つけ出し、その解決策について各自治体へ政策提言を行っている。 上記2項目を、新ビジョンとして設定しました。これは第4次ビジョンで達成できなかった部分を引き継ぎながらも、更に同友会の存在意義を高めながら各所と連携協力を図りビジョン達成へと近づけることを切望します。
情報広報	1月21日(月) 19時00分～同友会事務局にて委員会を開催。 1. 広報誌 編集会議 2. ホームページについて 3. edoyu 利用 12月利用率60%に推移 4. その他・情報交換 ・第4次ビジョン最終年度検証アンケート提出について ・『個人情報保護について』勉強会の開催(12月3日(月))反省点、アンケート検証
仲間づくり	1月17日に最後の「仲間づくりの日」を開催させていただきました。各支部の皆様には、大変お忙しい中、時間を作っていただき、本当にありがとうございました。目標達成とはいきませんでしたが、県下全域で同友会のことが語られる時間となったことは今後につながっていくと確信しております。また、翌週21日には次年度方針についての打ち合わせを副委員長と実施し、次年度方針の確認を行いました。

ビジョン	1月28日(月)第10回委員会を開催。進捗アンケートを用いて検証に入りました。
ダイバーシティ	・1月9日(水)、2月4日(月) 全研シミュレーション ・2月21・22日(木・金) 全研第6分科会担当(報告者は中村こずえ副代表理事、菅原委員長) ※ダイバーシティ委員会として良い報告ができるように頑張ります!! ・3月 全研分科会の反省会、勉強会予定
共同求人	■1月23日 出島・浦上支部合同例会「共同求人者の真の目的とは」 報告者：橋口県委員長 座 長：吉澤共同求人委員長(支部長)、中尾出島支部共同求人委員長 感想&反省：参加された皆さんは熱心に聞いていただいたが、難しくわからないという声も聞いた。わからないという声は常に一定数はあると思うが、「同友会の仕組みを理解していただける県内の仕組み」を更にアップデートさせる必要性を感じた。 ■1月29日・30日午前 第2回中同協 共同求人委員会(市ヶ谷) 「共同求人活動で企業が変わり、地域が変わる」をテーマとして、埼玉同友会企業の実践報告を聞いた(第25回経営フォーラム第一分科会の報告者の阿萬会員も、宮崎同友会の実践報告をされる予定だったが、急遽欠席)。グループディスカッションでは、全国の同友会の共同求人委員会の活動を共有した。長崎県の共同求人委員会は、先輩たちの好事例や失敗事例をたくさん得られるので有難い立場だと実感。 ■1月30日午後 第4回中同協 共同求人・社員教育合同委員会(市ヶ谷) 「同友会らしいインターンシップとは」をテーマに、山形同友会と山形大学が取り組んだ、インターンシップを通じた企業成長と求人活動へ繋がる実践事例を聞いた。この取り組みは、文部科学省全国最優秀賞を受賞し、同友会を通さず、文科省から直に長崎県内の大学に耳に入ることとなり、県内の大学側から事務局への接触が増え始めた。同友会共同求人者の時代は、合同企業説明会が主軸ではなく、インターンシップを主軸とする時代が来ていることを実感。今年度の埼玉同友会の合同企業説明会は学生参加者9名、宮崎同友会は10数名だったとのこと。全国的にも同友会主催の合同企業説明会への参加数は企業も学生も対前年比で1割減少しているが、J O B W A Y (同友会の求人サイト)は、対前年比150%増となっており、時代が変化している。また、インターンシップは、共同求人単独ではなく、共済委員会と一緒に取り組むべきものだと思ふ。 ■2月1日 事務局にて時間を分けて2名と面会。ともにインターンシップ事業について。 次年度のインターンシップ受け入れについて、県委員会と新体制を講ずることで合意

	■2月4日 県委員会開催 1月29日・30日の中同協の会議で得た、中同協および全国同友会の現状と、今後の活動方針を共有するために県委員会を開催。共有した中同協と全国の動きをベースに、2019年度長崎同友会共同求人委員会の活動方針を討議、決定した。
青年経営者会	1/9役員会にて12月臨時総会、1月例会、3月ハタアゲ大会の振り返りと検討。1/17愛知青年同友会との交流懇親会。1/22福岡青年支部40周年記念総会参加及び九州沖縄ブロック青年部連絡会にて長崎全研終了後の全国青年部連絡会の企画検討。1/29佐世保の地で初の青経例会を行いました。北松浦支部を除く支部に青経メンバーが誕生しておりますが目標の100名まで残り22名。各支部の更なるご協力をお願い致します。

- 2)例会について(更なる充実をめざして)ー本多例会委員長
- ・1月例会出席率がどの支部も下がっている。同友会での学びをしっかりと行えるような仕掛けをし、例会の質を上げて結果的に例会参加につながればよいと考えている。長崎全研では全国のレベルの高い会員の姿勢を学んでいただきたい。また、委員会活動等に参加することでも例会での学びが向上し、出席率向上につながると思うので、支部長の皆さんには支部の会員の皆さんへの周知をお願いしたい。
 - ・金井代表理事ー例会出席率が低く、目標を達成している支部もない。先日の中同協幹事会に参加して感じたことは、例会の出席率が低下している県は、危機に瀕している。今後、例会出席率等については、理事会の中でもっと時間を割いて検証し、各理事が例会をもっとよくする意識でやってもらいたい。
- 3)第49回中小企業問題全国研究集会について(2月21・22日)ー松尾実行委員長
- ・2月5日(火) 実行委員会開催
 - ・13日(水)に二日間の流れを確認・共有する会議を開催
- 4)中同協 主要行事の参加状況並びに報告
- ・中同協 幹事会 参加報告ー金井代表理事
 - ・1/29・30 第2回中同協 経営労働委員会 参加報告ー宇土委員長
 - ・1/30・31 第4回中同協 共同求人・社員教育合同委員会 参加報告ー橋口委員長
(橋口委員長急遽欠席のため、峰事務局次長より報告)
- 5)その他
- 田口事務局より議案書原稿提出締切徹底についてお願いあり

※次回開催 3月7日(木) 19時 つくば倶楽部

会員動向

●企業住所等変更

野方 康平 会員 (諫早支部) 新役職：取締役 総務部長 川上 貴弘 会員 (島原支部) 新役職：代表者	片桐 孝章 会員 (佐世保支部) 新住所：〒857-1164 佐世保市白岳町992-3 出口 寛幸 会員 (佐世保支部) 新会社名：D's LDC Office 新役職：代表者 新住所：〒857-0876 佐世保市塩浜町8-50-1103 新TEL番号：080-3909-1842
--	--

お詫び：1月号 新入会員(復会)山下 博史さん(佐世保支部)の支部名を誤って島原支部と記載しておりました。お詫びして訂正いたします。申し訳ありませんでした。

会 員 数 (2月1日現在)

	浦上	出島	大村	諫早	島原	佐世保	北松浦	五島	合計
目標	150	130	125	100	100	200	55	45	(1000)
期首	113	105	87	79	66	160	43	31	684
現在	111	109	100	88	70	182	43	32	735

退 会 者 (敬称略)

会 員 名	会 社 名	支部名	入会年月
山下 修一	(株)クオリティケア	長崎浦上	2011年 11月
野田 修司	ストリートノイズ	長崎出島	2017年 3月
林田 真弥	ダイニング味遊	島 原	2018年 7月

3月例会案内

他支部の例会情報は、ホームページや e.doyu から閲覧・参加申込可能です。

●長崎浦上支部

日 時 3月19日(火) 18:30～21:00
会 場 長崎新聞アストピア
テ ー マ (仮)アート・ワン戦略
～変化と挑戦は人の縁から～
報 告 者 アート・ワン(株) 代表取締役
一ノ瀬 卓 会員

スクリーン印刷を主に、各種デザインから作製・施工を手掛けるアート・ワン。若干25歳で代表者に就任、人との縁を大切に事業スタイルは、一ノ瀬さんと会社の成長に大きく関わってきました。「アナログとデジタルの融合」を掲げ、お客様の想いに寄り添う企業づくり、飛躍的に進化するデジタル環境をチャンスに新たな創造の提案を行い、地元企業、自治体からの注目度ナンバー・ワン。地域を愛する一ノ瀬さんに、地域と共に歩む中小企業家の実践をご報告いただきます。

●長崎出島支部

日 時 3月27日(水) 18:00～20:30
会 場 サンプリエール
テ ー マ 我が青春のアルカディア
縛られぬ魂は同友の船に乗って
～ピンチこそ同友会に答えあり～
報 告 者 (有)アイエフエス うどん「とも也」
代表取締役 伊折 志登也 会員

●大村支部

日 時 3月20日(水) 18:30～21:15
会 場 長崎インターナショナルホテル
テ ー マ 人手不足、人財不足の解決は、まず内的要因
の解決から
報 告 者 プライアント(株) 代表取締役社長
橋口 久 会員
(佐世保支部 県共同求人委員長)

今年度から長崎同友会にも共同求人委員会が発足いたしました！多くの方がおっしゃった言葉は『共同求人委員会ってなんばすってね？』残念ながらそこに、この委員会に対する興味は感じられませんでした。しかし、実は全国的に見て非常に遅い発足です。他県の同友会においてはすでに委員会活動が活発に行なわれ、重要なものとして捉えられています。この委員会、共同求人と言いながら『最大の目的は、共同求人にあらず』一体どういうことでしょうか？中同協においても「同友会活動の集大成」との位置づけです。『求職者から選ばれる企業づくり』のために、同友会との関わり方が少し変わる報告です。県共同求人委員長の(株)プライアント 橋口さんをお招きしまして、共同求人委員会の真の目的について、熱く語っていただきます！会員の皆様！自社経営のヒントや新たな挑戦への活力になる話が聞けます。

●諫早支部

日 時 3月20日(水) 18:30～21:00
会 場 諫早観光ホテル 道具屋
テ ー マ 原点回帰 手作りの経営フォーラム
～いま諫早支部がひとつになる～
報 告 者 (株)諫早スイミング 代表取締役
平湯 湧一 会員

いよいよ今年10月19日(土)2019年度「第26回経営フォーラム」が国立諫早青少年自然の家で開催されます。コンセプトは「原点回帰、手作りの経営フォーラム」。担当支部である我々諫早支部はこの前例のない経営フォーラムを成功させるため、いまひとつにならなければなりません。経営フォーラムとは何か？何を学ぶのか？原点回帰、手作りの経営フォーラムとは？「MADE IN ISAHAYA」の経営フォーラムはもう始まっています。今回の例会を諫早支部だからできる手作りの経営フォーラム成功への決起例会とし、諫早支部はここでひとつになりましょう！

●島原支部

日 時 3月27日(水) 19:00～21:15
会 場 HOTEL シーサイド島原
テ ー マ 未定
報 告 者 ガトーフリアン
中村 真幸 会員

皆さん、ガトーフリアンにどんなイメージをお持ちですか？「儲かってるよね！」ありがたいことによく言われます。でも実際は…。オープン当初は繁盛していたようですが、私が入社した頃には衰微し始めていました。オープン時の勢いは無くなったものの、経営体制は大丈夫だろうと思っていたところに大親母が体調を崩し、私が経理をやることに。初めて目の当たりにした現実にはびっくり。そこから体制を変えるよう努力してきました。まだまだ皆さんのイメージとは程遠いですが、徐々に売り上げは上向きになっています。そんな私の経営体験と大親母からの事業承継についてお話をさせていただきます。皆さん、是非ご参加ください！

●佐世保支部

日 時 3月19日(火) 18:30～22:40
会 場 アルカス佐世保 3F 大会議室
テ ー マ 未来につなげる新事業への取り組み
報 告 者 (有)菅原産業 取締役
菅原 千代枝 会員
(長崎出島支部・理事 県ダイバーシティ委員長)

愛知県から長崎に移住して14年。廃棄物処理業の経営を引き継ぎ、障がい者雇用をきっかけに同友会に入会。入会後の自社の経営、自分自身の成長を振り返り、現在の廃棄物処理業の現状と課題、そして、今後の廃棄物処理業の在り方を報告させていただきます。

●北松浦支部

日 時 3月20日(水) 18:30～21:00
会 場 サンパーク吉井
内 容 国際交流委員会から海外視察報告

●五島支部

日 時 3月23日(土) 18:30～21:00
会 場 観光ビル はたなか
テ ー マ 同友会で学び自社経営に活かしたいこと
報 告 者 (株)環境エコクリーン 統括部長
山口 大輔 会員(諫早支部)

五島支部3月度例会は諫早支部より山口大輔さんをお招きし、ご報告いただきます。同友会に入会するきっかけから、入会2年目には役員会にも参加し、同友会に対する捉え方、考え方が変わっていきます。多くの報告を聞き、また「人生を生かす経営」の書籍からも感銘を受け、仕事に対する考え方、お客様に対する営業のあり方、社員との接し方、コミュニケーションに変化が生じていきます。支部の活動を超え、多くの例会に出席し、仲間づくり委員会で大活躍の山口さん。同友会活動に対するその熱き想いも存分にいただきます。

●青年経営者会

日 時 3月21日(木) 10:00～
会 場 長崎市唐八景公園(雨天時:ペンギン水族館)
内 容 ハタ揚げ大会